



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北原敦教授研究実績
Citation	西洋史論集, 4, 139-142
Issue Date	2001-03-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/37438
Type	other
File Information	4_139-142.pdf



北原敦教授研究業績

【著書】

- 1 『世界各国史 一五 イタリア史』森田鉄郎編（分担執筆）、三五三～五二三頁、山川出版社、一九七六年。
- 2 『ヨーロッパ近代史再考』（共編著）、ミネルヴァ書房、一九八三年。
- 3 『概説イタリア史』（共編著）、有斐閣、一九八八年。
- 4 『世界の歴史 二二 近代ヨーロッパの情熱と苦悩』（分担執筆）、一九三～二六二頁、中央公論新社、一九九九年。

【研究論文】

- 1 「イタリア・レジスタンスの一断面」『歴史学研究』二六四号、一四〇～一四七頁、一九六二年。
- 2 「イタリアのナショナリズム」『歴史教育』一二月号、六～一三頁、一九六三年。
- 3 「クローチェの政治思想 — 自由主義とファシズム（上）（下）」『思想』五三三号、四二～五九頁、一九六九年／五五三号、六五～九二頁、一九七〇年。
- 4 「イタリアのファシズム」『岩波講座世界歴史 二六』、一四七～一七二頁、一九七〇年。
- 5 「リソルジメントと統一国家の成立」『岩波講座世界歴史 二〇』、

一五五～二一八頁、一九七一年。

- 6 「ファシズムと共産党をめぐる諸問題 — 一九二〇年代のイタリア」『社会運動史』二号、一～二〇頁、一九七三年。
- 7 Gli studi di storia italiana moderna e contemporanea in Giappone negli ultimi decenni, *Rivista Storica Italiana* LXXXIX-2, pp.406-418, 1977.
- 8 「ファシズム時代の大衆の組織化」『社会運動史』七号、三～二一頁、一九七八年。
- 9 「イタリアのレジスタンスと労働者闘争」『月刊労働問題増刊七 資本主義の危機と労働者闘争』八一～一〇四頁、一九七九年。
- 10 「イタリアにおける反ファシズムの諸形態」『歴史公論』五一号、三四～四二頁、一九八〇年。
- 11 「イタリアのレジスタンス」東京大学社会科学研究所編『ファシズム期の国家と社会 八』東京大学出版会、一一五～一七五頁、一九八〇年。
- 12 「地方ファシズムの思想 — 一九二〇年代のイタリア」『思想』六八九号、一〇五～一二八頁、一九八一年。
- 13 Il mito di Garibaldi in Giappone, *Atti del LI Congresso di Storia del Risorgimento Italiano*, pp.403-409, 1984.
- 14 — 1 「日本におけるガリバルディ神話」日伊協会編『幕末・明治期における日伊交流』日本放送出版協会、二七～三六頁、一九八四年。
- 14 — 2 「日本におけるガリバルディ神話」田中彰・高田誠二編

- 『米欧回覧実記』の学際的研究』北海道大学図書刊行会、一八三〇一九五頁、一九九三年。
- 15 「南イタリアのイエッタトゥーラ 民間慣行と理性のまなざし」『歴史のメトドロジー』新評論、二二一〜二五三頁、一九八四年。
- 16 「シチリア民族の一体性神話」『民族の世界史 九 深層のヨーロッパ』山川出版社、二九三〜三三五頁、一九九〇年。
- 17 「シチリア」『世界史への問い 八 歴史のなかの地域』岩波書店、七五〜一〇二頁、一九九〇年。
- 18 「二重国家の消滅へ? — イタリア政治の戦後と現在」『世界』五八四号、七六〜八四頁、一九九三年。
- 19 — 1 La storia dell'Italia contemporanea nella storiografia giapponese, *Studi Storici*, Anno 34-N.1, pp.83-94, 1993.
- 19 — 2 Dal Giappone, *L'Italia contemporanea e la storiografia internazionale*, Venezia, pp.269-281, 1995.
- 20 「日常実践の歴史学へ」『思想』八四八号、二四〜四二頁、一九九五年。
- 21 「イタリアのファシズム、類似の運動」歴史学研究会編『講座世界史 六 必死の代案』東京大学出版会、一三九〜一七二頁、一九九五年。

【書評・研究動向】

- 1 G・フィオーリ『グラムシの生涯』『週刊読書人』、一九七二年九月二五日。
- 2 J・ジョル『グラムシ』『日本読書新聞』、一九七八年七月七日。
- 3 「コミンテルンと現代史」『日本読書新聞』、一九七九年二月二日。
- 4 P・スプリアーノ『工場占拠 イタリア一九二〇』『日本読書新聞』、一九八〇年一月二〇日。
- 5 竹山博英『マフィア』他 『朝日ジャーナル』、一九八九年三月一七日。
- 6 「明るみにでたシチリア・マフィアの実態」『デジタル月刊百科』、二〇〇〇年七月。
- 7 一九六七年の歴史学界（回顧と展望）近代イタリア『史学雑誌』七七編、一九六八年。
- 8 一九七三年の歴史学界（回顧と展望）近代イタリア『史学雑誌』八三編、一九七四年。
- 9 一九七四年の歴史学界（回顧と展望）近代イタリア『史学雑誌』八四編、一九七五年。
- 10 一九七八年の歴史学界（回顧と展望）近代南欧『史学雑誌』八八編、一九七九年。
- 11 一九八五年の歴史学界（回顧と展望）現代南欧『史学雑誌』九五編、一九八六年。

【事典・年鑑】

- 12 一九九一年の歴史学界（回顧と展望）現代一般『史学雑誌』一〇一編、一九九二年。
- 13 一九九七年の歴史学界（回顧と展望）歴史理論『史学雑誌』一〇七編、一九九八年。
- 1 『世界史小辞典』山川出版社、「ガリバルディ」「マッテオッティ」など、一九六八年。
- 2 『ジャポニカ万有百科大事典 九 世界歴史』、「協調組联合国」「ファシスタ党」など、一九七五年。
- 3 『ブリタニカ国際大百科事典』、「イタリア史」「ナポリ」他四項目、一九七二〜七五年。
- 4 『平凡社年鑑』、「イタリア共和国」一九七三—一九八七各年度、一九七四〜八八年。
- 5 『平凡社大百科事典』、「イタリア」「リソルジメント」他五〇項目、一九八四〜八五年。
- 6 『世界民族問題事典』平凡社、「サルデーニャ」「ピエモンテ」他三二項目、一九九五年。
- 7 『集英社世界文学大事典』、「グラムシ」「クローチェ」他一〇項目、一九九六〜九八年。
- 8 『歴史学事典 四 民衆と変革』弘文社、「バリケード」他五項目、一九九六年。

【その他】

- 1 「イタリア国民とファシズム」『ソビエト科学アカデミー版世界史 月報 三』、一〜四頁、一九六四年。
- 2 「レジスタンスと新しい文化—文化雑誌〈ポリテークニコ〉をめぐる」『イタリア図書』四〇号、一四〜一九頁、一九六八年。
- 3 「大学危機とステューデント・パワー」『世界』二七四号、一九八二〜八頁、一九六八年。
- 4 「イタリアにおける山猫スト」『労働問題研究 二 総評のゆくえ』、六七〜七九頁、一九七〇年。
- 5 「シチリアにおける民衆と山賊」『映画批評』一一号、一〇八〜一一五頁、一九七一年。
- 6 「階級闘争の虚構と現実」『映画批評』二〇号、三〇〜三七頁、一九七二年。
- 7 「バクーニンと秘密結社」『社会運動史』四号、二〇九〜二七頁、一九七四年。
- 8 「ファッショとマフィアと社会主義」『月刊百科』一六七号、一七〜一九頁、一九七六年。
- 9 「占いの水晶球、ナポリ」『月刊百科』一六九号、二二〜二三頁、一九七六年。
- 10 「一九世紀末のイタリア社会—ベルガモの農村と生活」『エキブ・ド・シネマ三三 木靴の樹』、四〜五頁、一九七九年。
- 11 「ナポリ—祭りと奇蹟の都市」『世界の国シリーズ 四 イタリア』

- ア『講談社、一五八～一六七頁、一九八二年。
- 12 「エフィジオの内なるパドローネ」『父 パードレ・パドローネ』
フランス映画社、一九八二年。
- 13 「社会史から見たイタリア映画」『読売新聞』夕刊、一九八三年
三月一八日。
- 14 「統一後のイタリアー一八九八年の暴動」『世紀末の美と夢 五
没落の予感』集英社、二二～三九頁、一九八六年。
- 15 「イタリア小史」『世界知の旅 五 永遠の美の光芒』小学館、
二二～三二頁、一九八六年。
- 16 「山賊大反乱の記憶ーイタリアの国家統一と民衆」『週刊大百科
世界の歴史 一〇七』、六八～六八五頁、一九九〇年。
- 17 「イタリアの歴史」『世界の歴史と文化 イタリア』新潮社、一
四～四〇頁、一九九三年。
- 18 「イタリア史」『AERAMook 一〇 歴史学がわかる』、三八～
三九頁、一九九五年。
- 19 「ぶどう酒の会」『ベットラ』異聞「『文学増刊 酒と日本文化』、
一七～一七五頁、一九九七年。
- 20 「思想の言葉…内戦としてのレジスタンス」『思想』八八四号、
一～三頁、一九九八年。
- 21 「イタリアはできた、イタリア人を作らねばならない」『岩波講
座世界歴史 二八 月報 二六』、一～三頁、二〇〇〇年。